

きりん組の子どもたちの、「失礼します」と事務室に入ってくる姿やつくも保育園の可愛い妹、弟たちに喜んで貰おうとこっそりきりんランドの準備を進める姿に嬉しさの半面、お別れの時が近づいている寂しさを感じる季節となりました。

新しい学年に上がるとき、「やればできるよ!」と声をかけ励ましたくなる場面があるかと思えます。しかし、「やればできるよ」と励ますことは、出来なかったらどうしようという不安も引き起こします。一方で、「やってみよう」とする気持ちを引き出せば一歩前進!子どもたちの内側の気持ちがグングン育っていきます。そんなポイントをご紹介しますね。

☆ 物事がうまくいったとき…褒めるべきは上手くいった結果ではなく、頑張ったプロセス!

☆ 失敗したとき…「失敗してつらかったね」と気持ちを分かちあけることが大切です。

☆ やる気や自信がない時…「何でなのかな」とその背景に目を向けその理由や乗り越え方を一緒に考えましょう。

個人面談のために仕事を調整していただきありがとうございました。今後とも、職員一同お子さんの姿を共有しながら成長を促していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

園長 高橋 梢

認定こども園

つくも保育園だより

令和6年2月号

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
					節分 豆まき	
4	5	6	7	8	9	10
	身体測定 ひよこ・はと 個人面談				布団持ち帰り	
11	12	13	14	15	16	17
建国記念日	振替休日	延長保育料×切		災害訓練	きりん組 ぱんだ組 お茶会	
18	19	20	21	22	23	24
				きりん組 チューブ滑り 布団持ち帰り	天皇誕生日	入園説明会
25	26	27	28	29		
		誕生会				
		保育料・給食費 振替日				

つくも保育園
〒990-0051 山形市銅町2-19-1 ☎622-7623
<http://www.yamagatashishakyo.or.jp/>

保護者会活動へのご協力ありがとうございました 【園庭整備・絵本修理・イルミネーション取り付け】

保護者会活動として、5月、6月、10月に園庭整備、9月、2月(予定)に絵本修理、11月にイルミネーション取り付けをしていただきました。

今年度は特に、園庭整備の機会を多く作らせていただき、子ども達の遊び環境を整えることに力をお借りしました。園庭環境が整い、各年齢ごとに、自然物や様々な用具に触れながらの園庭遊びがとても盛り上がりました。

絵本が大好きな子ども達は、毎日好きな絵本を手に取り、自分でページをめくったり、保育者に読み聞かせてもらったりして楽しんでいます。丁寧に絵本修理をしていただき、子ども達も気持ち良く絵本に触れることができています。2月にも第二回目の絵本修理を予定しています。参加して下さる保護者役員の皆様、よろしくお願いいたします。

今年のイルミネーションは、二階のベランダを中心に取り付けさせていただきました。暗くなると光るイルミネーションを見て大喜びの子ども達でした。

ご協力をいただいた保護者の皆様、どうもありがとうございました。

<3月の予定>

- 1日(金) ひなまつり
- 2日(土) 大掃除
- 8日(金) 歯科検診
- 16日(土) 修了式
- 27日(水) お別れ会

<修了式について>

3月16日(土)は修了式です。以前、園だよりでもお知らせしましたが、当日は職員揃って年長児の門出をお祝いさせて頂きたいと思っておりますので、0歳児から4歳児のお子さんに関しましてはご家庭での保育にご協力をお願いいたします。

ひよこ

保育園で初めての雪遊び!と思っていたものの、雪がなかなか降らず積もらず…。園庭にちょっぴり雪が積もった際には、スキーウェアを持ってきて頂いたお友達は袖を通し、園庭にお出かけしました。積もった雪の上をバランスを取りながら歩いたり、手袋越しに雪に触れてみたりして、寒い外でも元気に遊びまわります子ども達です。室内でも冬の自然に触れられるよう、タライに山盛りの雪を入れて触ってみました。おまごとのカップやお茶碗で雪をすくったり、指でちょんちょん触って冷たい感覚を確かめたり、雪を触るお友だちの反応を観察したり、思い思いに楽しむ子ども達です。

生活面では、高月齢の子ども達から身の回りのことを自分でやってみることに挑戦しています。おむつ交換の際に自分でズボンやオムツを脱いだり、履いたり、給食では腕をまくって自分で手を洗ったり…。低月齢のお友だちもその姿をしっかり見て、手洗い前に「まくまく」と腕まくりをする姿もあります。「じぶんできた!」の嬉しい気持ちに寄り添い、「またやってみよう」に繋がれるよう、来月も楽しく子ども達と関わっていききたいと思っております。

はと

今年はなかなか雪が降り積もらず、雪遊びができない日が多かったですね。ちょっぴり雪が積もったときにスキーウェアを着て戸外に出ると、ちょんちょんと雪を慎重に触る子や、大きな雪玉を作って投げている子、保育者と一緒に雪だるまを作ってみる子などそれぞれ雪に触れ、感触を楽しむことができました。

生活面ではトイレに行くことに慣れ、意欲的にトイレへ向かう姿が増えてきました。トイレに行きたい気持ちから自分でズボンやオムツを脱ぐ姿も多く見られます。自分でできたことを大いに認めて「自分でできた!」という自信に繋がっていきたいと思っております。また、進級に向けて階段の上り下りをしたり、りす組のお部屋に遊びに行ったりする機会を多く持ちながら、安心して進級へ向かっていけたらと思います。今月は雪の状況を見ながら雪遊びや散歩などを楽しんでいきたいと思っております。

りす

雪が降ると「雪遊びしたい!」と期待に胸を膨らませる子ども達。保育者と雪合戦をしたり、友だちと一緒に大きな雪だるまを作ったりし、雪の感触を十分に楽しみながら、たくさん体を動かして雪遊びを楽しんでいます。スキーウェアの着脱や後始末もできないところは仕方を丁寧に伝え、様子を見ながらさりげなく手伝う援助もしていますが、自分でしようとする姿が多く見られるようになってきました。

今月も戸外遊びを楽しんでいくと共に、室内遊びでも自分の思いを安心して子ども達が伝えられるようにしながら、友だちと一緒に好きな遊びを楽しむことができるよう見守っていききたいと思っております。また、生活面では内ズックの着用や絵本の貸し出しなどをしながら、進級に向けての準備を少しずつ始め、子ども達の期待や意欲を大切にしていきたいと思っております。

うさぎ

雪が降り積もった日に「雪遊びできる?」と、雪遊びを心待ちにしていた子ども達。スキーウェアの着脱は、着方を思い出しながら「こうするの?」と分からないところやできないところを聞きながら、自分でしようとする意欲が伝わってきます。何度か経験を重ねていくと「こうだよ!」と嬉しそうにする様子からは、自信がついてきている様子が伺えます。「昨日は凍っていた葉っぱの上が、今日は濡れてるね」「なんでだろう?」と氷に興味を持って、「溶けたのかな?」「あっちに移動したんじゃない?」など、友だちと考える姿も見られます。自然への「なんでだろう?」の気持ちを大切にしながら、山形の冬を過ごしていけたらいいと思います。

先日、4、5歳児と一緒に遊ぶ機会を作りました。ドキドキしていたお友達も、年上のお友達に優しくしてもらったり、遊び方を教えてもらったりして、とても楽しかったようです。今月も異年齢の交流を持ちながら、室内での遊びを充実させていきたいと思っております。

ぱんだ

雪が積もることを待ち望んでいた子ども達。今年は暖冬ですが、先日雪が積もった時は、スノーウェアをはききって着用し、大喜びで雪遊びを楽しむことができました。また、園庭では水たまりの氷に気付き、氷の模様毎に種類分けをしたり、氷を解かず実験を友達や保育教諭と楽しんだりしながら、冬の自然に興味をもって関わる姿が見られました。

室内遊びでは、すごろく、福笑い、独楽、凧等、伝承遊びを楽しんでいます。特にすごろくは、「もっとお題のマスを増やしたい!」「きりん組さんみたいな難しいのもしてみたい!」との子ども達の思いから、以前遊んでいた物より少し難易度を上げて子ども達と作り直してみました。ルールを守って友達と関わりながら遊ぶ楽しさ、数の数え方、文字への興味等、すごろく遊びを通して楽しみながら学んでいきたいと思っております。

今月も雪が積もることを心待ちにし、冬の自然に親しみながら体を動かして遊び、寒さに負けない体作りをしていきたいと思っております。また、感染症も流行る時期なので、引き続き手洗い消毒を丁寧にすることを知らせながら、健康的に過ごせるようにしていきたいと思っております。

きりん

今年は雪がほとんど積もらない冬。それでも少ない雪で友達と協力しながらのかまぐら作りや雪だるま作りを楽しみました。室内遊びでも、友達同士で相談しながら、一緒に一つの物を作ろうとする姿がますます増えてきています。一緒に作り上げる嬉しさや満足感は、友達と一緒に感じることで倍増!また、毛糸を使ったの編み物なども楽しめるようになってきました。じっくり時間をかけなければいけない物にも根気強く取り組み、出ていく過程を楽しんでいきたいと思っております。

就学を前に、午睡のない生活が始まりました。その時間を活用し、椅子に座り落ち着いて話を聞くことや、正しい姿勢で鉛筆を持って書くということに慣れる経験をしています。また、ワークを使って、線をなぞったり、ひらがなを書いてみたりしながら、書く経験や文字に触れることに取り組んでいます。「もうすぐ一年生!お勉強楽しみ!」という気持ちから、とっっても張り切っている様子。小学校への期待を膨らませながら、スムーズに就学に向かっていけるよう、来月も楽しみながら様々な活動をしていきたいと思っております。